

宇津木台 森遊会 実施報告

「第3回定例活動」

No.2015-03

実施日	2015年6月28日(日) 9:30~13:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 8名(男性6、女性2) 岡田、神宮、吉川、田原、後藤、中村(弘)、矢島、北澤 インストラクター: 金森		

実施内容

活動5年目の第三回目。梅雨の晴れ間となった、涼しく空気が乾燥しており、風が心地良い。

オリンパス技術開発センター宇津木に10時に集合。総務部から脚立をお借りする、さらに、備品置き場から万能袋、熊手を持ち出し現地へ向かう。

生垣の剪定は2年ぶり2回目となる。公園なので見晴らしがいいように高さ70センチで切り揃える。高さの目安になるように数か所に切れ込みを入れ(岡田さん)、これを目安に分散して剪定してゆく。伐った枝を万能袋に入れて堆肥場へ運ぶ、30分程で作業が終わり生垣はすっきりした。来年、また新たな葉が出てきて密度の濃い生垣となってゆくことを願う。たくさんの花も期待できる。

テニスコート裏側の傾斜地を除伐する。およそ3年かけて少しずつ除伐を進めてきたが、残り数十メートルがなかなか終わらない。特に蔓が複雑に絡み合っている箇所がある。9名でおよそ1時間作業し、また一步進んだ。比較的涼しいとはいえ、作業中は大量の汗となった。

休憩の後、脚立を持って巣箱の掃除に向かう。この間、留守番を兼ねて休憩エリアに積もった落ち葉を掃除していただいた(後藤さん)、春に落ちた常緑樹の葉が腐葉土化しており、大量のミミズが出てきた。巣箱は、6か所中、4か所で巣材が入っており、無事に巣立ったようだ。



剪定する高さに見本の切れ込みを入れる 作業開始



伐った枝は万能袋で堆肥場へ



陽が当たらない側は枯れ気味



除伐作業を約1時間行う



複雑に絡み合っていて進まない



端から解体してゆく



今回の作業エリアはこの通り



巣箱は6か所中4か所に巣がみられた



無事に巣立ったようだ



巨大なキノコ(アマタケ?)

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は小1個を指定の場所に置く。